

# 日事 る知 あ

富山県知事

石井隆一



## ◎新しい総合計画の策定に着手

十二月二日(木)

富山県では、平成十九年四月に策定した「元氣とやま創造計画」を県政運営の指針としてきましたが、平成二十年秋以降の世界的な金融・経済危機の発生、日本をはじめ先進諸国の停滞の一方で、中国など新興国の急速な経済発展、政権交代に伴う国の政策の大転換など、計画策定時の想定を超えた大きな変化が生じています。

また、最近の医薬品製造業の躍進、県内企業の航空機産業への参入、伏木富山港を拠点とする東アジアとの物流の拡大など、新たな動きを積極的に支援するとともに、四年後に迫った北陸新幹線の開業後を見

据え、観光・交流人口の拡大や魅力あるまちづくりなどを具体的に推進



第一回富山県総合計画審議会

することが必要です。

そこで、こうした社会経済情勢の変化や県政の重要課題に的確に対応するため、新たな計画を策定することにしました。この日開催した第一回総合計画審議会では、新木富士雄会長（前北陸経済連合会会長）に新計画策定の諮問書をお渡しし、二十四年の春までに、十年程度先を見通した先見性と戦略性のある中期ビジョンの作成に向けて、答申を取りまとめいただくようお願いしました。

## ◎年末警戒の民間パトロール隊等を 激励

十二月十日(金)

午後七時から年末の警戒にあたる民間パトロール隊や警察官を激励し

ました。

富山県では、平成十七年四月の安全なまちづくり条例の施行以来、県民総ぐるみの防犯活動が進み、地域の安全を守る輪が大きく広がっています。こうした取組み等により、県内の犯罪発生件数は八年連続で減少してピーク時の半分以下に、殺人など重要犯罪の「人口当たりの発生率」は全国最少となるなど着実に成果を挙げています。

この日は、県庁前で青パト隊の出發を見送った後、浅山公安委員長や斉藤警察本部長とともに徒歩でコン



年末の繁華街を巡視

ビニヤ駐輪場を巡視し、富山駅前では、繁華街の夜間パトロールを行っている「ホタルの会」、大学生の防犯ボランティア」とやま・シーピース」など民間パトロール隊の皆さんを激励しました。

◎高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議

十二月十八日(土)

高岡古城公園動物園のお堀で飼育されていたコブハクチョウからH5亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことから、直ち



鳥インフルエンザ対策本部会議

に高病原性鳥インフルエンザ対策本部及び防疫対策本部を設置し、午後七時過ぎから県庁で本部会議を開催しました。

本部会議では、今後の対策として、①半径10kmの監視区域の設定と養鶏場の立入検査、②野鳥の飛来地などでの監視と糞便調査、③県内全養鶏農家等への注意喚起、④養鶏農家への消石灰の無償配布などを行うことを決めました。また、県民向けの相談窓口を設けるとともに、本県の鶏肉・鶏卵は安全であることの周知を図りました。なお、飼育されている残りのコブハクチョウ等十羽については、施設の管理者である高岡市と協議し、感染拡大を防ぐため自衛的に処分していただくことになりましたが、市民に親しまれている鳥を処分することは本当に厳しい決断であったと思います。これまで動物園における発生時の防疫対策や対処基準がなく、現場では戸惑いも生じたことから、国に対して基準・指針等の早期の策定を要請しました。(二十四日に鹿野農林水産大臣に申し入れ。)

◎富岩運河環水公園でカウントダウン

十二月二十三日(木)

この日は、富岩運河環水公園で

開催された「スイートクリスマス2010」で、花火の点火カウントダウンを行いました。

公園中央部に架かる「天門橋」がライトアップされて幻想的な雰囲気を作り出す中で、夜空に打ち上がる花火を、若者や家族連れなど一万人を超える皆さんと楽しみました。

富岩運河環水公園では、二十一年からソーラー船「sola」など富岩水上ラインが運航し、パナマ運河方式の中島開門(国指定重要文化財)で二・五mの水のエレベーターを体験できます。また、二十三年春には、



環水公園スイートクリスマス2010

大型遊具を備えた見晴らしの丘が完成し、有名シェフが監修するレストランがオープンするほか、五月十四日には第二十二回全国「みどりの愛護」のつどいも開催されます。これからの公園の魅力高め、富山駅北地区の賑わいを創っていきたくないと考えています。

◎「Uターンフェア in とやま」を開催

十二月二十七日(月)

年末に帰省する大学生等を対象にした「Uターンフェア in とやま」を開催し、セミナーでは、私から本県の暮らしやすさ、県内産業の特色や本県企業で働く魅力などについて説明しました。また、合同企業説明会では、約千七百人の大学生等が県内企業等の採用担当者と同面談しました。

富山県のUターンの状況は、Uターン就職希望率が約五三％(リクルート調べ。東京都に次いで全国第二位)に対し、実際のUターン就職率は約五六％と、マクロではおおむねマッチングが図られています。富山県の活力を高めるためにはUターンを更に増やしていく必要があると考えています。